

中学校での既習内容を定着させ、聞く、話す、読む、書く、やり取りの活動を通して、新しい項目を学習します。

教科名	外国語	科	科目名	英語コミュニケーション I ■必修 □選択	学年	2 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	COMET English Communication I (SUKEN SHUPPAN)				使用教室	HR教室		
学習の 目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。							
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題（プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート） □その他（ ）						
	評価 観点 の 趣 旨	a	知識・技能	外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。その知識を目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。				
		b	思考・判断・表現	単語、文法について理解し、必要な文化的背景について理解している。英語を言語活動を通じて理解し、概要や要点を捉えることができる。英語で話し合ったり、意見の交換をしたりすることができる。				
		c	主体的に学習に取り組む態度	積極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろうと努力している。				
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい			評価方法		
						項目	a・b・c	
1	4	Lesson 6 Convenience Stores: Keys to Their Success	コンビニエンスストアが商品売るための工夫について学ぶ 自分が実践している工夫点についてプレゼンを行う			■定期考査	a b c	
	5					■小テスト	a	
	6	Lesson 7 High School Aquarium	高校生が運営する水族館の生徒へのインタビューを学ぶ 生徒同士でインタビューを行い、その内容をまとめる			■ノート	a b c	
2	7					□振り返りシート		
	9	Lesson 8 Smart Farming	スマート農業に関するウェブサイトの記事を読む 産業技術について、英語でまとめる			■作品	a b c	
	10					■パフォーマンス課題	a b c	
3	11	Lesson 9 Food Waste	食品廃棄の問題について学ぶ 国際的な食糧問題について英語で発表する。			□その他	()	
	12							
	1	Lesson 10 William and His Windmill	アフリカの農村で発電のための風車を作った少年の話学ぶ。 本校の発明品を英語で紹介する。			■定期考査	a b	
3	2					□小テスト		
	3					■ノート	a b c	
						■振り返りシート	a c	
						■作品	a c	
						■パフォーマンス課題	b c	
						□その他	()	
担当者からのメッセージ（学習方法など）								
パフォーマンステストを頻繁に実施します。成果物を発表できるようにしましょう。								

					整理番号		23英-202			
教科名	外国語	科	科目名	ブラッシュアップ英語（選択C） □必修 ■選択	学年	2 年	単位数	2		
使用教科書 副教材 等	チャート式シリーズ BIG DIPPERビッグ・ディッパー高校英語(数研出版) BIG DIPPER ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES(数研出版) Tetra 1 (啓隆社)				使用教室	選択教室				
学習の 目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、基本的な文法事項から発展的なものまで正確に理解できる力を伸ばす。									
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 □小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題（プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート） □その他（ ）								
	評価 観点 の 趣 旨	a	知識・技能	外国語の語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。その知識を目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。						
		b	思考・判断・表現	単語、文法について理解し、必要な文化的背景について理解している。英語を言語活動を通じて理解し、概要や要点を捉えることができる。英語で話し合ったり、意見の交換をしたりすることができる。						
		c	主体的に学習に取り組む態度	積極的な態度で言語活動に参加し、相手とのコミュニケーションを図ろうと努力している。						
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。									
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい			評価方法				
						項目	a・b・c			
1	4	be動詞・一般動詞 過去形・助動詞など	基本的な文法事項を学びなおす。			■定期考査	a b c			
	■小テスト					a				
	5				■ノート	a b c				
1	6	受動態・完了形など	基本的な文法事項を学びなおす。			□振り返りシート				
	7							■作品	a b c	
			会話文・資料の読み取り	会話文と資料の内容の両方について読み取る力を養う。 長文を読んで、内容を適切に読み取る力と、その内容を踏まえた表現力を養う。			■パフォーマンス課題	a b c		
			□その他（ ）							
2	9	Essay Writing	具体的な言語の使用場面を設定し、目的に応じて簡潔に書く力を養う。			□定期考査				
	10	Listening	対話や説明の内容を正しく聞き取る力を養う。			■小テスト	a b c			
	11	Listening	対話や説明の内容を正しく聞き取る力を養う。			■ノート	a b c			
	12					■振り返りシート	b			
						■作品	a b c			
						■パフォーマンス課題	a b c			
						■その他	c			
						()				
3	1	Presentation	日常的な話題について、情報や考えを理由をもとに、話して伝える力を養う。。			■定期考査	a b			
	2							□小テスト		
	3							■ノート	a b c	
						■振り返りシート	a c			
						■作品	a c			
						■パフォーマンス課題	b c			
						□その他	()			
担当者からのメッセージ（学習方法など）										
パフォーマンステストを頻繁に実施します。成果物を発表できるようにしましょう。										

論理・表現Ⅰは英語で論理的に正しく表現できるようになることを目標としています。地道に一つずつ復習を重ね、使える表現を増やしていきましょう。

パフォーマンステストを頻繁に実施します。成果物を発表できるようにしましょう。